

2018年度 JICA（日系研修）6次産業化、農商工連携コース

受入期間：2018年9月30日(日)～10月26日(金)
受入人数：6名



アルゼンチン



ブラジル



キューバ



メキシコ

十勝における6次産業化や農商工連携の手法と効果を講義・見学を通して、現地で活かせる6次産業化を学び、農業経営の発展や地域経済に寄与する人材を育成することを目的として実施いたしました。

研修員は、研修で学んだことを活かし、下記のような計画を立て帰国後実行いたします。

「自分の州で、起業希望の生産者と支援機関による作業グループを設置するためのプロジェクトを立ち上げ、6次産業化による起業を広めたい」「日本で習得した知識をもとに、国民に受け入れられる新商品を開発する」「地域で生産されるバナナの価値を集約する工業化プロセスを作成し、乾燥バナナ（無糖および無脂肪）を生産するバナナ加工産業を作りたい。十勝の6次産業セクターに基づいて、製品の付加価値をつけ商品化する」「青果物鮮度保持包装の技術を第一次産業に適用して、野菜の保存期間を延長し輸出を目指す。大豆の生産力も高めたい」

商品開発・販路開拓実践の牧場・農家視察



農商工連携・6次産業化の実践企業視察

意見交換会

